

絆

143号



自由民主党

前衆議院議員

桜田よしたか



日本！この国を強い国に！ ～国・地域・家族を守る～

異議あり！東日本大震災の復旧・復興財源

増税頼みの復興予算はノー、建設国債との組み合わせがベスト

東日本大震災から7か月。復旧・復興費にあてる政府・与党の臨時増税案がようやくまとまりました。

当面5年間の集中復興期間に必要な財源は16.2兆円。これを臨時増税と政府保有株の売却などの税外収入でひねり出そうというものです。

スッタモンダの末、増税規模は政府が当初示した11.2兆円が9.2兆円に、代わりに税外収入額を5兆円から7兆円に積み増すことで合意しました。しかし、野田首相と民主党・前原政調会長の間で増税規模の解釈が違っていています。原案の11.2兆円をベースに今後、増税額の削りこみ作業が行われますが、どうしても読める“玉虫色解決”は混乱再燃の火種になりかねません。

臨時増税案は、右の表にある

《臨時増税の内容》

ように所得税、法人税、たばこ税、住民税を3～10年間、引き上げる内容です。

一見して財源確保を最優先に抵抗の少ない、取りやすいところから取る、帳尻合わせの増税メニューを並べた印象を否定できません。

私が何より問題だと思うのは復旧・復興財源のすべてを増税でまかなおうという発想です。

特に法人税増税に対してはノーと言わざるをえません。日本経済の力強い復活をさまたげ、企業の海外移転など産業の空洞化を招く恐れが大きいからです。超の付く円高で苦しむ企業に

これ以上の負担を強いたら、景気マインドが冷え切ってしまう。

それでも被災地の再建には膨大な費用がかかるのが現実です。

——その財源をどのようにひねり出せばいいか？

私は道路、港湾、公共下水道、学校といったインフラ整備には建設国債（償還期間60年）を発行すればいいと思います。50年も60年も利用できるインフラを造るわけですから、財産を引き継ぐ将来世代が建設費の一部を負担してもおかしくはありません。今の世代にだけ“痛み”を押し付けるのは無理だし、公正を欠くというものです。

一方、生活復興支援に直接かかわる費用は臨時増税による収入を充てればいい。たとえば住宅や船舶の二重ローン、被災地に誘致する企業の固定資産税減免などの財源です。要は増税か建設国債かの二者択一ではなく、バランスのとれた組み合わせを構築して難局を乗り切るということです。

所得税	2013年1月から10年間 税収見込み 6.2兆円
法人税	12年4月から3年間 税収見込み 2.4兆円
たばこ税	12年10月から 国分は10年間、地方分は5年間 税収見込み 2.2兆円
個人 住民税	14年6月から5年間 税収見込み 0.4兆円
計 11.2兆円を9.2兆円に圧縮へ	

まだ見えない地域再建の青写真～野田首相への注文

またも Too Little, Too Late…迅速できめ細かな対策を！

臨時増税にしろ、建設国債にしろ、捻出した予算をどのように使うのか——被災地再建の道筋が今もって見えてきません。

野田首相は自民党と公明党に対し、本格的復興策を盛り込む 2011 年度第 3 次補正予算案の事前協議を呼びかけてきましたが、与野党協議を言う前に何をどうしたいのか、政権政党としてのビジョンを打ち出すのが先決でしょう。

自民党は今年 7 月、「震災後の経済戦略に関する特命委員会中間報告」のタイトルで政策項目、予算額、財源について以下のような提案を発表しました。

〈主要政策〉	〈経費〉
●被災地の早期の復旧	2.6 兆円
●被災者の生活再建支援・被災地の産業再生	3.8 兆円
●被災地自治体等の支援	2.3 兆円
●原発事故対応	1.6 兆円
●災害に強い国土づくり	3.0 兆円
●わが国産業の基盤強化	1.1 兆円
●1 次補正予算流用分（基礎年金国庫負担の 2 分の 1 引き上げ）補てん	2.5 兆円
総額	17 兆円程度

自民党案を丸呑みしろとは言いませんが、きめ細かくスピード感あふれる対策を一日も早く打ち出してほしい——これが野田内閣への切なる注文です。

阪神淡路大震災の際、当時の村山内閣は復興指針となる復興基本法を 37 日で成立させました。それが今回は 102 日も費やしました。

民主党政権のやることはいつだって『Too Little, Too Late(少なすぎ、遅すぎ)』——被災地でこんな叫びを何回耳にしたことでしょうか。

原発事故の補償、除染は国と東電の共同責任で

福島第一原発事故の収束は最大の政治課題のひとつです。フクシマの再生なくして日本の復興はありません。

被災者への賠償手続きがようやく動き出しましたが、東電が負担する賠償額は今後 2 年間で 4 兆 5400 億円。原発の廃炉費用 1 兆 1500 億円を加えると、数年後には債務超過に転落する恐れが出てきました。

東電はリストラを進めながら賠償金の支払いを続けることとなります。しかし、何といたっても民間企業。財務体力には限界があります。一義的には東電が負担するのは当然としても、支払い能力を超える分について政府は公的資金の注入を含む支援を急ぐべきです。

電力会社の社会的責任はいうまでもなく電気の安定供給。過度のリストラでこれ以上人材が流出し、電力インフラの維持管理や原発事故の収束作業がおろそかになっては元も子もありません。被害救済を確実にを行うためにも政府と東電の連携が求められます。

もう一つの課題は放射能の除染です。福島県内はもとより、私たちが住む柏市や我孫子市など千葉県北西部でも事態は深刻です。

「安心して子どもを外で遊ばせられない」「学校給食は大丈夫なのか？」

お母さん方の心配は尽きません。最大のネックは予算です。除染を進めるには莫大なカネがかかります。私は地方自治体に除染費用を負担させることに反対です。除染は国と東電の共同責任で行うべきだと考えています。政府は「年間被爆線量5^{ミリ}・シーベルト以上の地域は国が財政支援する」とか「5^{ミリ}・シーベルト以下は一部だけ補填する」とか、細かいことを言っていないで「100%責任を持つ」方針を打ち出すべきです。

野田政権発足1か月の通信簿 あなたの採点は？

●野田カラーが見えない。泥にもぐった“ドジョウ”？

9月2日に野田内閣が発足してから1か月が過ぎました。臨時国会での所信表明演説や国会答弁を聴いていると、野田首相の慎重姿勢が目につきます。短命に終わった鳩山、菅政権への反省からでしょうか、野党への配慮や党内融和を優先し、「政権当初から乱暴なスピード違反はできない」（9月30日の記者会見）と「安全運転」に徹しています。

これでは泥に身をひそめるドジョウです。国民が望んでいる野田カラーとリーダーシップが見えてきません。

千葉県が生んだ戦後初の総理大臣ということで私もエールを送った一人ですが、つかみどころのない首相にガッカリしました。

●小沢元代表に説明を求めるべき

小沢元代表の資金管理団体「陸山会」事件で元秘書3人に有罪の判決が下り、本人の裁判も始まりました。しかし、野党の追及に野田氏はのらりくらりするばかり。小沢氏に気兼ねしているように映ります。

私は、小沢氏には政治家としての説明責任があると考えています。説明の場としては衆議院の政治倫理審査会（政倫審）があります。

政倫審は田中元首相がロッキード裁判で一審有罪の判決を受けたのをきっかけに1985年、衆参両院に設置されました。小沢氏は当時の衆議院議院運営委員長。「俺が政倫審を作った」と周囲に語っているそうですから、説明の場としてピッタリではないでしょうか。

非公開が原則の政倫審で納得いく説明が出来なければ、偽証罪が適用される証人喚問にステップを進めればいい。

民主党代表でもある野田首相は「政治とカネ」の疑惑解明に強力なリーダーシップを発揮すべきです。この件に関して「ノーサイド」はありえません。

●国民にもっと情報発信を！

野田首相は国民に語りかける機会が少ない気がします。

就任以来、記者会見3回（首相就任時、訪米時、臨時国会閉会時）、記者の質問を短時間受ける「ぶら下がり」11回、記者団からの声かけ53回（うち44回は無言）＝いずれも10月3日現在＝。

こうした取材でメッセージを発することは、国のリーダーがいま何を考えているか、国民がメディアを通して知る絶好の機会です。

失言を恐れて情報発信にブレーキをかけるのはいかがなものか——「口は災いの元」とダンマリを決め込んでいては、国民が政治から離れるばかりです。

☆ セミナー開催のお知らせ

元内閣総理大臣 安倍晋三先生セミナー：講演テーマ「日本再生への道筋」

(日時) 平成23年11月21日(月)

<自民党自慢のカレーで昼食 11:30~12:00、安倍先生講演 12:00~12:55>

(場所) 自由民主党本部9階 東京都千代田区永田町1-11-23 TEL 03-3581-6211 (代表)

(アクセス) 東京メトロ有楽町線/半蔵門線/南北線 永田町駅3番出口から徒歩1分

(会費) 10,000円

(お問い合わせ先) 櫻田義孝事務所 TEL 04-7132-0881 担当：上野

☆ 櫻田義孝新番組のお知らせ



【今、気になる話題や街の情報を
取り上げ発信する番組！】

11月5日(土)より櫻田義孝がメインキャスターの新番組「サタデープロジェクト」が放送開始！政治から地元の話まで櫻田の鋭い解説を毎週お届け致します。

【放送局・時間】千葉テレビ(3ch) 朝 9:30~10:00

11月5日(土) <放送第1回>

第1部：著名人との対談

「安倍晋三元総理」

第2部：地域の有名人との対談

「第4回ふるさと田中みこし祭り実行委員長 寺嶋佳一氏」

第3部：地域のイベント

「第4回ふるさと田中みこし祭り@柏の葉キャンパス駅の模様」

11月12日(土) <放送第2回>

第1部：著名人との対談

「元財務大臣 額賀福志郎衆議院議員」

第2部：地域の有名人との対談

「JA 東葛ふたば組合長 鈴木哲夫氏 都市近郊農業のあり方と我孫子市農産物直売所オープニング(10/8)の模様」

第3部：地域のイベント

「我孫子市中里諏訪神社例大祭 10月9日の模様」

☆ 平成23年11月13日(日)我孫子市議会議員選挙投開票予定です。

各候補者の事務所開きや市政報告会に大車輪で動いております。櫻田が応援している候補者をよろしくお願い致します。

櫻田義孝事務所

〒277-0814 柏市正連寺 374 TEL:04-7132-0881 FAX:04-7132-6456

ホームページ <http://www.sakurada-yoshitaka.com/>

メールアドレス web@sakurada-yoshitaka.com

Twitter (ツイッター) <http://twitter.com/ysakurada>